

## 高橋純名誉教授略歴

### 経歴

- 1949年 6月 出生（東京都）
- 1968年 3月 東京都立立川高校卒業
- 1968年 4月 東京外国語大学フランス語科入学
- 1973年 4月 東京都立大学人文科学研究科仏文学専攻入学
- 1976年 9月 同上修士課程修了
- 1977年 4月 同上博士課程入学
- 1979年 3月 同上単位修得退学
- 1979年 4月 東京都立大学人文学部助手
- 1980年10月 小樽商科大学商学部講師
- 1981年10月 小樽商科大学商学部助教授
- 1991年10月 小樽商科大学言語センター助教授
- 1992年10月 同上教授
- 1994年 3月－1995年 7月 フランスにて在外研究（Ecole des Hautes Etudes Pratiques）
- 2000年 2月－2004年 1月 小樽商科大学国際交流センター長
- 2013年 4月 小樽商科大学特任教授
- 2015年 3月 同上退職

## 高橋純名誉教授研究業績表

### 主要論文・記事

1. 「ARTAUDの狂気または生と作品の通底器」：フランス語フランス文学研究33号：1978
2. 「Raymond Abellioにおける『神』と『歴史』—*Les Yeux d'Ezéchiel sont ouverts* 読解—」：フランス語フランス文学研究37号：1980
3. 「主体から身体へ（Ⅰ）：Artaudにおける言語の問題」：小樽商科大学人文研究62輯：1981
4. *L'Idée du Théâtre chez Artaud et les Caractères Ontologiques de l'Affectivité*：小樽商科大学人文研究, 65: 61-85 1983
5. 「主体から身体へ（Ⅱ）：言語的規範の成立と言語外的現実」：小樽商科大学人文研究67輯：1984
6. 「言葉の暗在系」：花田圭介先生退職記念論集『思索の迷路』：1985
7. 「主体から身体へ（Ⅲ）：アントナン・アルトーの『肉の位置』」：小樽商科大学人文研究71輯：1986
8. 「主体から身体へ（Ⅳ）：アルトーにおける演劇の解体」：小樽商科大学人文研究72輯：1986
9. 「主体から身体へ（Ⅴ）：アルトーにおける経験の論理と情動性」：小樽商科大学人文研究74輯：1987
10. 「『チェンチ』の向こうへ」：ユリイカ1988年2月号：青土社
11. 「主体から身体へ（Ⅵ）：アルトーの生あるいは思考の量子状態」：小樽商科大学人文研究75輯：1988
12. 「主体から身体へ（Ⅶ）：『精神』の目的論から『肉体』の自由へ」：小樽商科大学人文研究78輯：1986
13. 「アルトーの二つの『上奏文』」：小樽商科大学人文研究82輯：1991
14. *Du logique et de l'être chez Stéphane LUPASCO*：小樽商科大学人文研究83輯：1992
15. 「普遍言語の夢想：試行の周辺から」：Language Studies：小樽商科大学言語センター広報1号：1993
16. *Stéphane Lupasco : Présentation bibliographique*：Language Studies：小樽商科大学言語センター広報4号：1996
17. *La Métaphore Isomorphe entre Science et Gnose*：小樽商科大学人文研究91輯：1996
18. 「アルトー（と）の連動」：ユリイカ1996年12月号：青土社
19. 「アルトー全集の『序言』：ある自伝として」：小樽商科大学人文研究98輯：1999
20. 「アントナン・アルトーあるいは〈黒いポケット〉からの声」：フランス研究2号：北海道大学文学部：2000
21. 「アルトー全集の『序言』：〈黒いポケット〉をめぐって」：小樽商科大学人文研究99輯：2006

22. 「Faux amis (フォザミ) 考」: Language Studies : 小樽商科大学言語センター広報14号 : 2006
23. 「異語との出会い:《グローバリゼーション》, 可能性の過剰, 無力さの過剰, ポエジー」: 比較文化論叢: 札幌大学文化学部紀要22号 : 2008
24. 「アルトーの「頭痛」あるいは情動性の経験について」: Septentrional : 日本フランス語フランス文学会北海道支部論集1号 : 2008
25. 「もうひとつの《地下室の手記》について—アルトーの『神経の秤』再読」: 小樽商科大学人文研究115輯 : 2008
26. 「ダルフルからロワールへ: 世界の暴力の前で詩はなおも可能か?」: 図書新聞, 2889 : 2008
27. 「『ユマニテ』紙の小林多喜二追悼記事」: Language Studies : 言語センター広報17号 : 2009
28. 「多喜二とロマン・ロラン: 伝説の〈事実〉と〈真実〉」: 小樽商科大学人文研究118輯 : 2009
29. 「寅さんの小樽ツアー: シリーズ15話チャプター5あるいは入れ子式物語」: Language Studies : 小樽商科大学言語センター広報18号 : 2010
30. *Une rencontre : Romain Rolland et Takiji Kobayashi* : Cahiers de Brèves: 25-juillet, Association Romain Rolland, 2010
31. 「ロマン・ロランと『赤旗』の「訴え」(1932年7月20日)」: Language Studies : 小樽商科大学言語センター広報19号 : 2011
32. 「ル・クレジオがこんなことを書いている」: 杉中昌樹編著『詩の練習』3号 : 2012
33. 「多喜二生前の国際的評価: 1932年に見られるその一端」: 2012年小樽小林多喜二国際シンポジウム報告集『多喜二の文学, 世界へ』: 小樽商科大学出版会 : 2013
34. 「レオン・ドゥーベル友の会の『趣意書』」: 小樽商科大学人文研究126輯 : 2013
35. 「ロマン・ロランに届いた一通の日本語の手紙」: Language Studies : 小樽商科大学言語センター広報22号 : 2014
36. 「世界最小新聞社社長——『ユマニテ』紙に登場した高田博厚(1939年)」: Septentrional : 日本フランス語フランス文学会北海道支部論集3号 : 2014
37. 「テキストの『外』に読む」: Language Studies : 小樽商科大学言語センター広報23号 : 2015

## 著書・訳書

- 『超人の午餐』, ルイ・ボーヴェル著, 工作舎, 1986  
『ニュートンと魔術師たち』, ビエール・チュイリエ著, 工作舎, 1990  
『眠りの魔術師メスマー』, ジャン・チュイリエ著, 工作舎, 1992  
『革命のメッセージ』, アントナン・アルトー著作集IV, 白水社, 1996  
『事典: 哲学の木』(「オカルト」の項執筆), 講談社, 2002